

## DI 委員会トピックス

### タイトル

エピペン<sup>®</sup>注射液 0.15mg, 0.3mg

### 概要

近年、食物アレルギーが注目されている。特に原因食物を摂取して2時間以内に症状が誘発される即時型は、食後30分以内に初期症状を経験し、その後の急激な症状の進行によりアナフィラキシー症状を引き起こし、死亡する場合もある。中には、原因食物を摂取後1～2時間後に症状が誘発されることもあり、摂取後の経過には注意が必要である。アナフィラキシー治療の第一選択薬としては、アドレナリンが使用される。また、アナフィラキシー症状の初期反応が一旦治まった後に再燃する二相性反応が惹起されることもあり、初期症状時における適切なアドレナリン投与が二相性反応を抑制する重要なポイントになるともいわれている。つまり、アナフィラキシー症状の改善には、アドレナリンが有効である。2012年にアナフィラキシー補助療法として自己注射用アドレナリン(エピペン<sup>®</sup>)が保険適用となり、患者の負担軽減と食物アレルギーによるアナフィラキシー症状に対する適切なプレホスピタルケア(病院前救護)の迅速な実施が可能となった。しかし、処方医や患者、保護者等がエピペン<sup>®</sup>の適切な使用方法や投与するタイミングについて正しい情報を習得していなければ、緊急時に患者の生死を分ける可能性もある。そのため、我々薬剤師は、適正な情報提供を患者や医師等へ行っていく必要がある。エピペン<sup>®</sup>の処方が勧められる食物アレルギー患者の因子の一つに「医療機関から離れた地域に住んでいる」が含まれており、今後、宮崎県でも処方が増えることが予測される。そこで、今回は、エピペン<sup>®</sup>について紹介する。

— エピペン<sup>®</sup>注射液 0.15mg, 0.3mg —

#### <適応>

蜂毒、食物及び薬物等に起因するアナフィラキシー反応に対する補助療法

#### <規格>

エピペン<sup>®</sup>注射液 0.15mg/筒、エピペン注射液 0.3mg/筒 (2規格)

#### <用法用量>

通常、成人には0.3mg製剤を使用し、小児には体重に応じて0.15mg製剤又は0.3mg製剤を使用  
※体重30kg未満の患者に本剤0.3mg製剤、体重15kg未満の患者に本剤0.15mg製剤を投与すると過剰投与になるおそれがあるため、**原則禁忌**となっており、副作用の発現等に十分な注意が必要

#### <禁忌>

ブチロフェノン系(セレネース等)・フェノチアジン系(ウインタミン等)等の抗精神病薬、 $\alpha$ 遮断薬

#### <原則禁忌>

動脈硬化症の患者、甲状腺機能亢進症の患者、糖尿病の患者等

#### <使用基準>

アナフィラキシー重症度の「グレード2で使用を考慮」、「グレード3は速やかに使用」

#### <使用上の注意>

- ・15～30℃で保管し、**冷所保存**しないでください
- ・エピペン®の注射を必要とするまで、絶対に**安全キャップ**を外さないでください
- ・エピペン®を**太ももの前外側に垂直**になるようにし、ニードルカバーの先端を「カチッ」と音がするまで強く押し付けます。太ももに押し付けたまま**数秒間待ち**、エピペン®を太ももから抜きとります。緊急時には衣服の上からでも注射可能
- ・太ももにエピペン®を**振り下ろして**接種しないでください
- ・エピペン®の誤注射を防止するため、握る際には上下の先端のどちらにも**親指**をかけないように握る。誤注射した場合には、**直ちに**医療機関を受診して、適切な処置を受けてください
- ・エピペン®は一度注射すると、残液が残っていますが、再度注射しても薬液が放出されないため、**二度注射**しないでください
- ・エピペン®注射後は、**直ちに**医師による診療を受けてください（使用済みエピペン®と安全キャップは、医師へ渡してください）。また、医師から、エピペン®の再処方を受けてください
- ・エピペン®には**有効期限**があります。エピペン®処方時に製品と一緒に渡された「登録ハガキ」に必要事項を記入し、「エピペン カスタマーサポートセンター有効期限切れ等お知らせプログラム」宛てに郵送してください。登録したエピペン®の有効期限前に、有効期限を教えてください。有効期限が切れる直前に、未使用のエピペン®を持って、医療機関を受診し、新しいエピペン®の処方を受けてください

等

最後に、エピペン®の詳細については下記のホームページとガイドブックをご参照ください

- ・ホームページ (phizer)

(<http://www.epipen.jp/index.html>)

- ・エピペンの使い方かんたんガイドブック (pfizer)

(<http://www.epipen.jp/download/manual.pdf>)

※使用方法が、図解で説明されています

#### 参考文献

- ・薬局 第64巻 第3号 食物アレルギー
- ・添付文書